

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
345	老人ショートステイ事業	01	一般会計		
基本施策	6	高齢者の健やかな生活を支える	03	民生費	
			02	老人福祉費	
担当部課名	伊賀支所 健康福祉課		01	老人福祉費総務費	
作成者氏名	福永 保	連絡先	45-1016	細目	102 在宅老人介護事業
				細々目	02 老人ショートステイ事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	居宅において介護を受けることが一時的に困難になった高齢者及びその家族	介護者の介護負担の軽減とともに、要介護高齢者の生活を確保する。			
本年度事業内容	介護者の疾病等の理由により寝たきり高齢者等が介護を受けることができない場合、特別養護老人ホームへ入所させることにより、当該高齢者と介護者の福祉の向上を図る。 ・年間30日以内 ・介護者の疾病、自己、災害等にかぎる。				
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	伊賀市老人短期入所事業実施要綱

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.05	0.05	0.05
人件費合計(A)	360	360	360
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	0	765	765
需用費			
負担金補助			
扶助費			
その他		765	765
合計(A+B)	360	1,125	1,125
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	360	1,125	1,125
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
施設入所者延数	人	0	90	90			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
施設入所者延数	3人×30日=90人	回	0 目標 (105)	90	90

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

介護保険制度により利用者は減少しているが、昨今の高齢者虐待等の緊急対応及び要介護者の緊急避難対策として必要があると考える。

評価	必要性	4	事業を現状維持する。 緊急避難的な事業であり事業活用が無いことが望まれるが、在宅介護を推進していく上では重要な事業である。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	2		
	効率性	4		